

【概要】

<医療安全管理のための委員会等の設置>

医療の安全確保とインシデント・アクシデントの発生防止を推進するため、次に定めるところにより、病院組織として医療安全関係の委員会及び部会を設置する。

1. 医療安全関係の委員会の設置

院長は、病院組織の医療安全関係の委員会として以下の委員会を設置する。委員会はそれぞれの役割に応じて医療の安全を確保し、並びに院内感染対策及び褥瘡対策等を講ずることにより、安全かつ清潔で良質な医療を提供することを目的とする。

(1) 医療安全関係の委員会の設置

- ①医療安全管理対策委員会
- ②感染対策委員会
- ③褥瘡対策委員会
- ④医療器機安全管理委員会
- ⑤透析器機安全管理委員会
- ⑥防火対策委員会
- ⑦放射線安全管理委員会
- ⑧医療ガス安全管理委員会

(2) 医療安全関係の部会の設置

①リスクマネジメント部会の設置

インシデント・アクシデント防止対策のための具体策を検討、協議し、安全で清潔・良質な医療提供を進めるため、リスクマネジメント部会を設置するとともに、各所属にリスクマネージャーを配置する。リスクマネジメント部会で策定されたインシデント・アクシデントの防止対策等は医療安全管理対策委員会に報告する。

②Rapid Response System (RRS) 部会の設置

院内における病状の変化に早期に対応して、全身状態の悪化を予防することを目的に Rapid Response System (以下 RRS) 部会を設置する。

2. 医療の質・安全管理室及び医療安全関係の管理者等の設置

(1) 医療の質・安全管理室の設置

院長は、医療安全関係の各委員会で決定された方針等に基づき、組織横断的に安全で清潔な医療を推進し、インシデント・アクシデントを未然に防止するとともに、発生した事故に関する事故原因の分析、調査を行い、再発防止策を検討、協議するなど病院のリスクマネジメントを確保するとともに職員への教育や研修、職場巡視や安全医療を推進するための啓発を行う。医療の質・安全管理室は、医療安全管理対策委員会の庶務のほか院長が必要と認める業務を所管する。

(2) 医療安全管理責任者、医療安全管理者等の選任等

院長は、病院全体の医療安全の中核を担う者として、医療の質・安全管理室に次の資格を有する者のうちから医療安全責任者及び医療安全管理者を選任しそのうち副院長の職にある者を医療の質・安全管理室長とする。その他、1名以上の者を医療安全管理業務に専従する者として配置する。

- ①医師、薬剤師又は看護師のうちのいずれかの資格を有していること。
- ②医療安全に関する研修を修了し、必要な知識を有していること。
- ③病院の医療安全管理室に所属していること。
- ④病院の医療安全管理対策委員会の構成員に含まれていること。

(3) 医薬品安全管理責任者の配置

院長は、医薬品の安全使用を厳密に行うことを目的として薬剤部に医薬品安全管理責任者を配置する。

(4) 医療機器安全管理責任者の配置

院長は、医療機器の安全運用及び適正管理を目的として医療機器安全管理責任者を配置する。

(5) 医療機器放射線安全管理責任者の配置

院長は、医療放射線の適正管理を目的として医療放射線安全管理責任者を配置する。

3. インシデント・アクシデント等の調査対応組織の設置

(1) 医療安全カンファレンスの開催

医療の質・安全管理室長は、院内で発生した全てのインシデント・アクシデントを共有するとともに防止対策を検討することを目的に週に1回程度、医療安全カンファレンスを開催する。構成員は、医療の質・安全管理室長、診療局長、看護局長、医療技術局長、事務局長、薬剤部代表者、放射線部代表者、臨床検査部代表者、臨床工学部代表者、栄養部代表者、リハビリテーション部代表者及び医事課代表者などとする。

医療安全カンファレンスは、インシデント・アクシデントに対する対策を検討し必要に応じて各部署に対策立案を指示するほか医療安全管理対策委員会で検討する事例を抽出する。

(2) 臨時医療安全管理対策委員会の開催

院長は、重大なアクシデントが発生した場合、別に定める要綱に基づき臨時医療安全管理対策委員会を開催する。

(3) 院内アクシデント調査委員会の設置

臨時医療安全管理対策委員会により詳細調査が必要と判断した事例については別に定める要綱に基づき院内アクシデント調査委員会を設置する。委員会の構成員には、必要に応じて、院外の適切な人員に参加を要請する。院内アクシデント調査委員会は、事故原因究明と再発防止を図る。

(4) 医療事故調査委員会の設置

院内の死亡事例が臨時医療安全管理対策委員会により事故調報告症例に該当する医療事故と判断された場合、院長は別に定める要綱に基づき医療事故調査委員会を設置する。医療事故調査委員会は、院長の医療事故調査・支援センターへの報告を補佐するとともに事故原因究明と再発防止を図る。

【2020年度 医療安全研修（医療安全管理対策委員会主催）】

<全職員対象>

開催日	テーマ	参加人数
6月15日(月) ～7月31日(金)	【基調講演】これだけ知っておいてください ～職員必須の医療安全知識～	451名
7月30日(木) 8月27日(木)	【学研 e-ラーニング】 現場でできるヒューマンエラー対策 *ID、PWを持っている看護師は e-ラーニングを視聴する(6月～9月)	320名
6月1日(月) ～9月30日(金)	【Safety Plus e-ラーニング】 8-13-1 患者誤認と指さし確認	513名
12月21日(月) ～1月29日(金)	【医療技術局の医療安全研修】 ①安全な離床のすすめ リハビリテーション部 ②植え込み型デバイスの安全運用 臨床工学部 ③事例から学ぶ ～GEに新たなリスクが潜む～ 薬剤部	178名
2月1日(月) ～2月26日(金)	【リスクマネジメント部会】 リスクマネージャーの活動報告	98名

<2020年度 医療の質・安全管理室ニュース「安全速報」の発行>

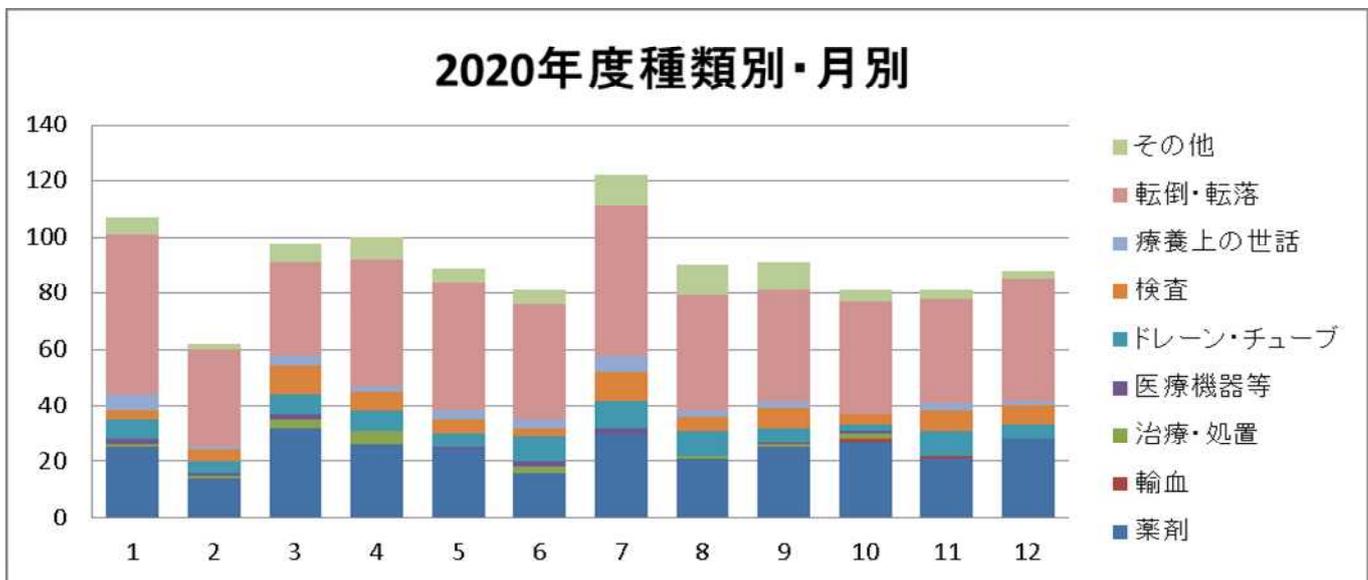
月 日	号数	内容
5月20日	安全速報 144号	患者誤認防止注意喚起
6月30日	安全速報 145号	2019年 インシデントアクシデント報告データ
7月29日	安全速報 146号	インシデント報告で対応したもの
9月30日	安全速報 147号	インシデントで対応したもの
10月27日	安全速報 148号	インシデント報告書 Good Point 紹介
12月11日	安全速報 149号	インシデント報告書 患者影響レベル「0」の紹介
12月28日	安全速報 150号	書類上の間違いと紹介所の取扱
2月16日	安全速報 151号	説明同意に関するトラブル

【インシデント報告件数】

2020年4月1日～2021年3月31日： 1090 件（副報告含む＝ 1136 件）

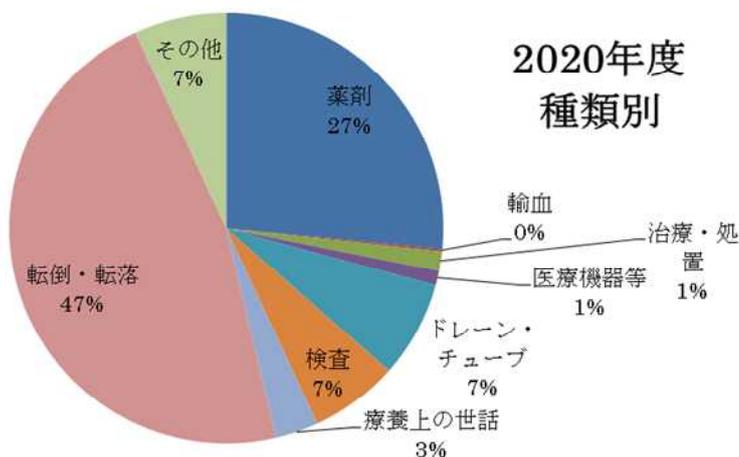
表題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤	25	14	32	26	24	16	30	21	25	27	21	28	289
輸血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
治療・処置	1	1	3	5	0	2	0	1	1	2	0	0	16
医療機器等	2	1	2	0	1	2	2	0	1	1	0	0	12
ドレーン・チューブ	7	4	7	7	5	9	10	9	5	2	9	5	79
検査	3	4	10	7	5	3	10	5	7	4	7	7	72
療養上の世話	6	1	4	2	3	3	6	2	3	0	3	2	35
転倒・転落	57	35	33	45	46	41	53	41	39	40	37	43	510
その他	6	2	7	8	5	5	11	11	10	4	3	3	75
合計	107	62	98	100	89	81	122	90	91	81	81	88	1,090

2020年度 種類別・月別

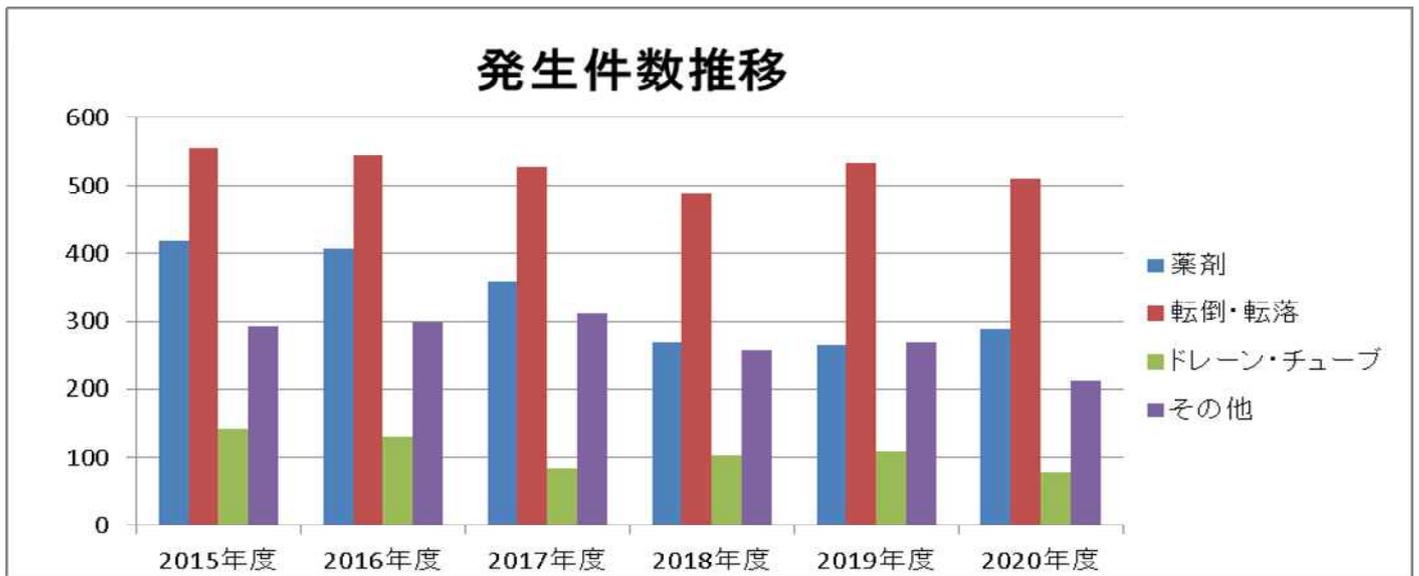


2020年度 種類別

【発生件数推移】



年度	薬剤	転倒・転落	ドレーン・チューブ	その他	合計
2016年度	407	544	132	299	1,382
2017年度	358	528	84	312	1,282
2018年度	268	489	103	258	1,118
2019年度	264	533	108	268	1,173
2020年度	289	510	79	212	1,090



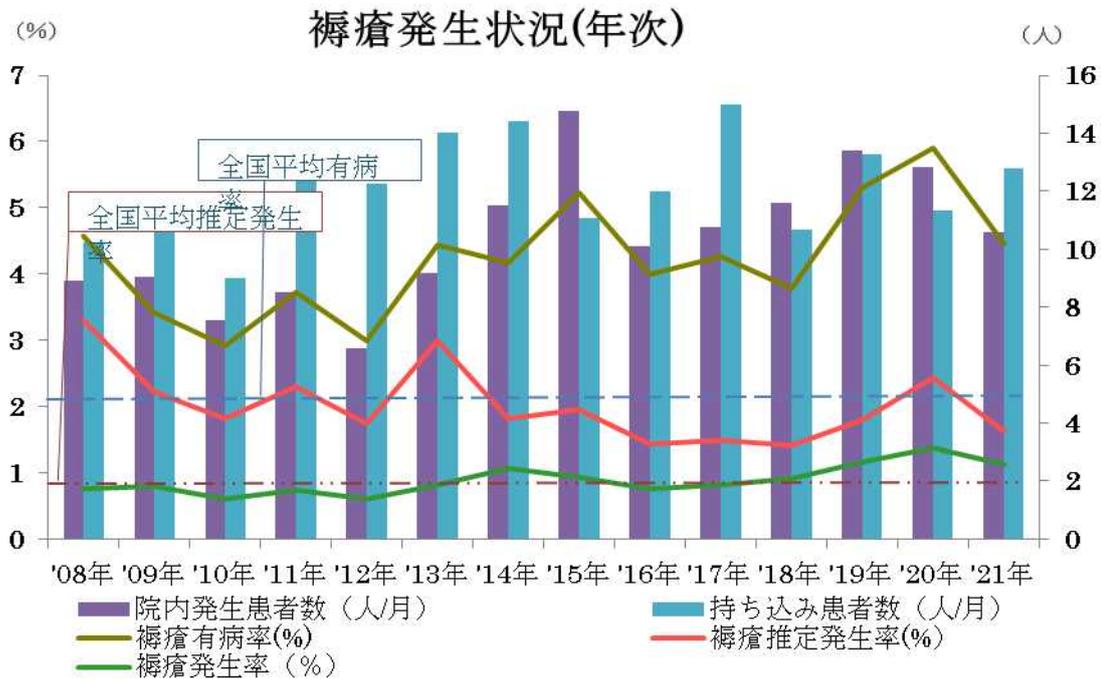
－ インシデント・アクシデントの定義 －

<p>レベル0：患者様に直接的な影響がなく、実施される前に発見。</p> <p>レベル1：患者様への実害はなかったが、何らかの影響をあたえた可能性があるため、観察の強化や、心身の配慮が必要になる場合。</p> <p>レベル2：事故により、患者様にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた場合。</p> <p>レベル3a：簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)</p> <p>レベル3b：濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)</p> <p>レベル4：事故による障害が長期にわたると推測される場合。</p> <p>レベル5：事故が死因となる場合。</p> <p>その他：盗難、器具破損など患者様には影響がない場合。</p>
--

【褥瘡対策】

褥瘡対策では、褥瘡対策委員会（褥瘡対策チーム）と看護局褥瘡対策委員会、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア認定看護師）が多職種協働でチーム医療を実践しています。

【褥瘡発生状況】



【2020年度褥瘡回診】

年月	日数	時間 (分)	人数
2020/04	3	165	18
2020/05	4	100	9
2020/06	4	115	13
2020/07	5	155	15
2020/08	4	155	16
2020/09	5	165	25
2020/10	4	170	20
2020/11	4	140	18
2020/12	3	125	19
2021/01	4	190	24
2021/02	4	135	16
2021/03	5	184	16
計	49	1799	209

※回診対象者：

新規褥瘡発生・もち込み患者さんの中で、褥瘡深度が NPUAPII 度以上の方

【褥瘡対策研修会】

主催	テーマ	日時	講師	対象
看護局 ラダー	学研メディカル e-learning システム 非褥瘡三原則 つくらない！見逃さない！悪化させない！	通年	-	看護職
	セーフマスター e-learning 褥瘡の基礎・予防編	通年	-	全職員

<主な業務>

感染対策の推進

- ・関連委員会、会議の庶務
- ・ASTカンファレンス
- ・ICTラウンド
- ・医療関連感染サーベイランス
- ・マニュアル作成・改訂
- ・感染管理コンサルテーション
- ・職業感染防止
- ・教育・研修企画及び運営
- ・感染症発生動向調査事業に関すること

<2020年度実績・活動内容>

○関連委員会、会議の庶務

- ・感染対策委員会：毎月第4月曜日
- ・ICT会議：1回
- ・感染症発生に伴う緊急会議：2回
- ・新型コロナ感染症対策本部会議：56回

○感染防止対策加算・感染防止対策地域連携加算に伴う活動

- ・合同カンファレンス：琵琶湖中央病院、ひかり病院（6・9・12月）
- ・8施設合同カンファレンス：大津赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院、大津赤十字志賀病院、琵琶湖大橋病院、琵琶湖中央病院、琵琶湖養育院病院、ひかり病院（3月）
- ・相互ラウンド：大津赤十字病院より評価（11月）
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院を評価（10月）
大津赤十字病院を評価（11月）

○ASTカンファレンス：毎週水曜日

〈カンファレンス〉対象：血液培養陽性者、抗MRSA薬使用者、カルバペネム長期使用者、
タゾバクタム・ピペラシリン長期使用者

- ・カンファレンス回数：51回
- ・延べ対象患者数：704人
- ・延べカンファレンス時間：59時間37分

○ICTラウンド：毎週水曜日

〈耐性菌ラウンド〉対象：耐性菌検出患者

〈環境ラウンド〉対象：病棟以外の部署

○医療関連感染サーベイランス

- ・中心ライン関連血流感染
- ・人工呼吸器関連肺炎
- ・尿道留置カテーテル関連尿路感染
- ・手術部位感染
- ・耐性菌
- ・抗菌薬使用量
- ・手指衛生
- ・針刺し切創・血液体液曝露

○感染対策研修会

開催月	テーマ	対象	講師
4月	感染対策の基本	新規採用者（医師、看護師）	感染管理認定看護師
7月	感染対策の基本	全職員	感染管理認定看護師
4～8月	流行性ウイルス感染症と予防接種を知る（e-ラーニング）	看護師	外部講師
7月 9月	流行性ウイルス感染症と予防接種を知る（インターネット講義）	全職員（看護師を除く）	外部講師
8月	感染対策の基本	事務職・補助員	感染管理認定看護師
8月	発熱と咳のある人の診療（抗菌薬と新型コロナウイルスを中心に）	全職員	外部講師
9月 10月	临床上大切な微生物と抗菌薬について（DVD上映）	全職員	臨床検査技師 薬剤師
9～1月	インフルエンザ感染予防対策（e-ラーニング）	看護師	外部講師
10月 11月	インフルエンザ感染予防対策（インターネット講義）	全職員（看護師を除く）	外部講師
2～3月	感染対策の基本	全職員	感染管理認定看護師

○ICT ニュースの発行

号数	発行日	テーマ
第29号	9月23日	クロスワードパズルで学ぶ感染対策

スキンケア外来

スキンケア外来は、皮膚・排泄ケア認定看護師が運営に携わり、主にストーマ保有者の社会復帰への促進、スキントラブルの予防、QOLの向上等を目的に支援しています。

近年対象者は高齢化が進んでいる事や化学療法・放射線療法後の担癌患者さんなど、背景も多様化しています。特に高齢者は在宅への移行時に、地域の医療システム（医療スタッフ）との連携が必要になるため、実際にストーマケアをしてくださる方との情報交換なども積極的に行っています。

また創傷ケアの一環として、乳腺外科の医師とともに癌性創傷（自壊創を含む）、手術創の治癒遅延などに対しケアを提供しています。在院日数の短縮化や、「1日でも早く退院したい」、「1日でも長く自宅にいたい」と思う患者さんの気持ちを大切に、自宅でもセルフケアが可能な方法を一緒に考えたいと考えています。

褥瘡がある患者さんには、ご家族や日々ケアされる訪問看護師さんをはじめ在宅関連職種とともに、生活環境や補助用具の見直しや提案等を行いながら、皮膚科医師とともに生活の場で発生する褥瘡の予防や治癒に向けて地域連携およびキーパーソンへの支援を実施しています。

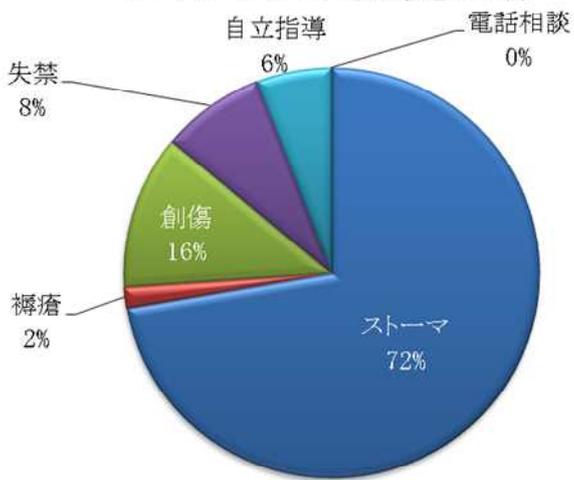
2013年からは「専門性の高い訪問看護※」として患者宅を訪問し、ご家族や訪問看護師さんとともに褥瘡だけでなく、生活そのものを褥瘡発生の要因ととらえて、予防や治癒にむけたアドバイスを行っています。

失禁に対する相談では、術後の尿失禁に対する骨盤底筋体操の指導をはじめ、尿失禁、便失禁で悩まれる患者さんの気持ちに寄り合いながら、QOLの向上を目的にスキントラブルの予防や経済性を考慮したケアの相談に応じています。

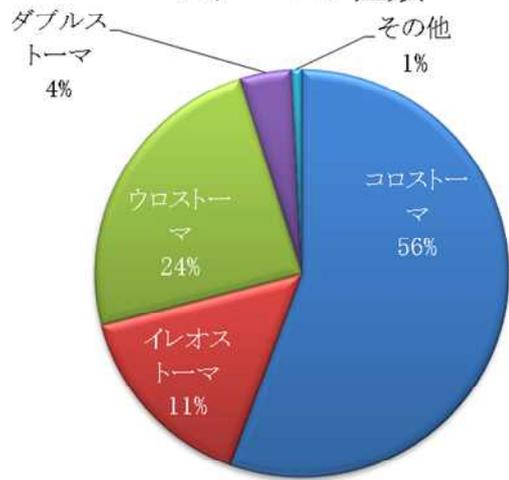
※1：在宅患者訪問看護・指導料：ストーマ保有、真皮を超える褥瘡の状態にある在宅療養中の患者について、訪問看護ステーションの看護師が同一日に訪問する。市立大津市民病院に受診歴がなくても可能です。



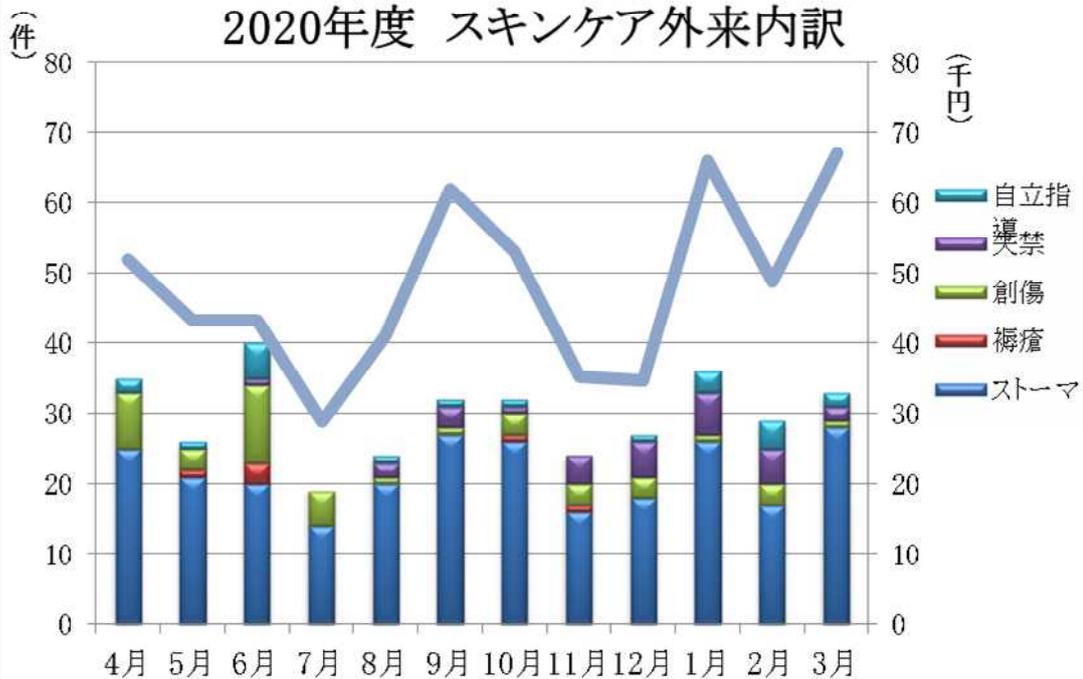
スキンケア外来対応内容



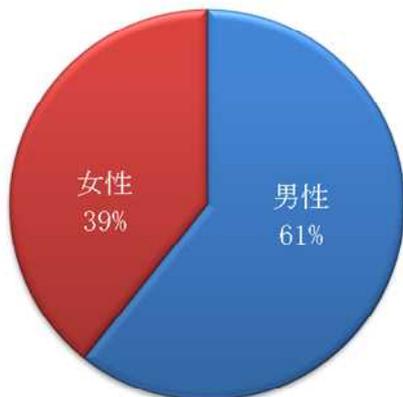
ストーマの種類



2020年度 スキンケア外来内訳



男女比



地域医療連携室

【診療科別開放型病床利用数・紹介入院患者数】

(単位：人)

診療科	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
内科	10	9	19	11	15	16	7	2	0	0
	225	238	248	392	556	760	673	644	606	596
消化器内科	2	6	8	4	0	8	4	1	0	0
	331	317	368	385	507	496	426	324	270	267
呼吸器内科	0	2	0	2	4	3	0	1	2	5
	38	45	55	85	109	128	136	110	109	98
小児科	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0
	147	120	110	158	123	220	208	228	232	49
外科	0	2	4	4	2	7	6	0	0	0
	161	133	150	180	300	314	229	158	170	163
整形外科	0	0	3	1	0	2	0	2	0	1
	113	85	84	160	203	142	193	132	131	99
産婦人科	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
	93	97	122	180	292	242	156	125	13	3
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	67	55	60	115	295	229	124	74	101	20
耳鼻咽喉科	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0
	44	44	41	66	149	126	66	52	61	50
泌尿器科	0	0	0	2	1	11	1	0	0	0
	115	85	89	83	133	181	138	124	127	102
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	21	24	26	54	40	51	41	42	29	18
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	465	417	363	184	334	281	248	243	255	190
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	2	5	3	4	2	1	0	0	1
	178	116	90	164	150	147	75	76	64	44
脳神経内科	17	8	5	4	7	11	4	6	0	4
	79	57	79	163	137	143	114	83	73	48
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	42	25	19	32	28	38	42	22	30	26
呼吸器外科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	56	40	34	47	64	50	55	44	51	39
循環器内科	1	1	5	12	9	1	6	7	1	2
	114	91	103	128	176	164	152	154	130	105
精神・心療内科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	2	3	3	4	11	2	5	4	1
緩和ケア科	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	8	70	95	92	45	124	125	93	100	19
合計	30	31	56	49	44	62	29	19	3	13
	2,301	2,061	2,139	2,671	3,645	3,847	3,203	2,733	2,556	1,937

上段：開放型病床利用者数

下段：紹介入院患者数

【2020年度 特殊検査依頼予約件数】

(単位：件)

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
X線				1	1								2
骨塩定量				3	1	1	2	3	2	0	1	1	14
上部消化管内視鏡	6		19	24	16	20	35	20	19	17	21	21	218
大腸ファイバー	1		2	9	9	10	18	19	11	15	13	12	119
腹部超音波検査	3		2	1	2	5	4	7	4	1	3	3	35
心臓超音波検査			3	1	2		1	3		2	2	1	15
その他超音波検査				2			1					1	4
MRI	28	20	74	69	44	76	83	73	46	56	57	98	724
CTスキャン	16	10	27	32	31	40	41	47	21	32	30	39	366
RI検査			1	1	3	4	3	1	3		1		17
その他													0
合計	54	30	128	143	109	156	188	173	106	123	128	176	1,514
2019年度合計	158	183	175	179	145	161	188	162	174	137	136	136	1,930
増減	△104	△153	△47	△36	△36	△5	0	11	△68	△14	△8	40	△416

【2020年度 一般患者診察依頼件数】

(単位：件)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	19	23	26	25	42	24	32	26	69	81	72	91	530
消化器内科	29	19	47	75	59	72	95	98	73	60	64	77	768
呼吸器内科	12	3	10	16	20	34	53	54	47	31	29	40	349
小児科	5	3	7	4	2	15	14	8	18	23	18	31	148
外科	10	6	22	17	13	10	14	18	13	11	12	25	171
整形外科	13	16	33	23	27	26	40	27	29	28	4	34	300
産婦人科	0	0	2	1	2	3	4	0	4	0	4	3	23
眼科	8	2	16	16	10	17	24	16	12	5	11	23	160
耳鼻咽喉科	11	10	27	18	14	24	23	23	17	14	16	27	224
泌尿器科	13	10	13	11	17	17	13	22	16	19	16	24	191
皮膚科	9	5	20	23	18	22	28	21	15	23	28	26	238
形成外科	3	1	1	3	2	0	6	3	1	1	1	0	22
歯科口腔外科	38	19	57	95	70	90	99	90	86	61	76	104	885
脳神経外科	15	14	32	31	22	33	23	33	21	21	29	35	309
心臓血管外科	8	10	23	27	25	33	24	23	24	19	37	30	283
呼吸器外科	2	3	15	16	4	16	12	9	7	6	11	11	112
脳神経内科	2	0	4	3	2	3	0	4	2	2	1	2	25
循環器内科	21	7	35	23	28	24	24	36	16	27	26	42	309
精神・心療内科	10	6	8	18	11	16	13	9	13	4	12	10	130
緩和ケア科	2	1	9	19	5	0	6	8	10	6	3	1	70
合計	230	158	407	464	393	479	547	528	493	442	470	636	5,247
2019年度合計	625	575	603	623	506	575	676	574	549	575	479	500	6,860
増減	△395	△417	△196	△159	△113	△96	△129	△46	△56	△133	△9	136	△1,613

【開放型病床利用状況】

区 分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	増減 (2019-2020)
利用入院患者数	59	29	20	8	14	6
(月平均)	4.9	2.4	1.7	0.7	1.2	0.5
利用入院患者延人員	1,078	544	377	59	253	194
(月平均)	89.8	45.3	31.4	4.9	28.1	23.2
平均在院日数	18.3	18.8	18.8	19.7	24.0	4.3
開放型病床利用率(%)	59.9	30.2	20.9	3.2	18.7	15.5
利用登録医師数	12	12	9	12	19	7
(月平均)	1.0	1.0	0.8	1.0	1.6	0.6
共同指導回数	121	43	31	8	16	8
(月平均)	10.1	3.6	2.6	0.7	1.3	0.6

【転院患者内訳】

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	増減 (2019-2020)	
人 数	2,198	2,519	2,445	2,368	2,350	△18	
平均年齢	79	78	79	79	79	0	
平均在院期間	28	28	28	29	28	△1	
平均依頼期間	23	25	25	27	26	△1	
転 帰 先	病 院	504	514	555	549	514	△35
	施 設	323	310	264	268	295	27
	グループホーム	32	37	34	20	30	10
	在 宅	1,441	1,159	1,384	1,270	1,317	47
	死 亡	250	215	237	275	225	△50

【2020年度 相談件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療費	2	0	0	7	2	2	1	0	1	1	4	1	21
特定疾患	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	6
高齢福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
生活福祉	3	3	2	2	1	2	2	2	2	4	4	0	27
障害福祉	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	5	10
児童福祉	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
介護保険	27	14	19	22	27	13	25	26	35	24	22	33	287
その他の施策	3	1	1	3	1	1	3	1	2	1	1	1	19
施策外サービス	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5
転院調整	88	52	41	50	62	79	86	57	82	51	63	80	791
在宅調整	41	24	20	30	58	31	46	29	49	36	38	62	464
受診相談	3	2	1	2	1	2	1	1	2	0	6	3	24
家族に関する相談	3	0	0	3	1	2	4	1	5	1	1	1	22
情報仲介	93	76	85	97	93	92	106	93	92	87	84	111	1,109
入院生活	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	8
往診医	11	5	5	3	8	2	5	1	8	3	4	9	64
訪問看護	13	5	8	9	17	5	10	8	20	13	11	18	137
介護タクシー予約	75	34	35	40	45	47	53	48	55	46	37	78	593
その他の相談	6	1	5	5	4	6	5	1	3	7	4	3	50
拡大カンファレンス	1	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	1	8
カンファレンス	11	2	5	13	10	7	9	4	3	6	5	9	84
合計	385	220	228	290	333	294	359	274	361	285	285	418	3,732

入院新規件数	157	125	208	211	214	195	207	209	194	175	188	224	2,307
入院終了件数	226	139	158	197	225	186	224	190	225	177	172	234	2,353
外来実人数	73	73	81	85	87	87	98	82	79	111	84	136	1,076

【2020年度 救急受入件数（診療科別・搬入経路別）】

（単位：件）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	388	325	251	411	589	365	321	365	428	506	320	283	4,552	379
消化器内科	53	32	71	96	96	98	97	76	98	83	78	87	965	80
呼吸器内科	27	18	14	15	27	11	27	23	18	16	10	14	220	18
小児科	49	32	54	53	49	72	59	58	87	83	74	63	733	61
外科	27	15	26	37	29	14	26	30	19	30	14	20	287	24
整形外科	42	22	77	97	97	113	150	121	132	73	76	111	1,111	93
産婦人科	2	0	0	2	4	1	0	0	1	3	2	2	17	1
眼科	2	0	2	2	2	0	3	2	4	2	3	5	27	2
耳鼻咽喉科	27	14	32	38	58	37	45	55	34	27	49	43	459	38
泌尿器科	29	22	22	36	47	26	38	27	29	22	37	33	368	31
皮膚科	65	16	86	150	137	160	119	125	130	100	82	111	1,281	107
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	2	1	8	0.7
脳神経外科	21	15	39	71	41	86	85	75	80	45	77	95	730	61
心臓血管外科	0	1	0	3	3	3	1	4	5	2	2	7	31	3
呼吸器外科	8	1	3	10	5	4	7	3	2	9	5	4	61	5
脳神経内科	26	9	33	33	40	26	42	37	31	20	28	45	370	31
循環器内科	47	17	33	21	27	22	48	49	49	30	30	48	421	35
精神・心療内科	17	5	9	24	7	17	11	19	11	3	15	13	151	13
緩和ケア科	1	0	1	4	0	0	2	2	3	2	1	1	17	1.4
合計	831	544	753	1,103	1,258	1,058	1,081	1,071	1,161	1,058	905	986	11,809	984

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
交通外傷	3	3	9	12	17	24	24	26	23	11	15	30	197	16.4
紹介	24	18	16	14	16	26	14	21	20	25	25	23	242	20.2

搬入経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般	674	444	547	828	978	790	788	790	900	938	662	644	8,983	749
救急	170	101	216	276	286	271	300	286	269	126	245	262	2,808	234
リ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	4	0.3
合計	844	545	763	1,104	1,264	1,062	1,088	1,077	1,169	1,064	907	908	11,795	983

【2020 度地域医療支援研修会実施報告】

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
総合内科	7月2日	「発熱、皮疹を主訴に受診した74歳女性」	19	1	橋本 開(臨床研修センター)
大津市医師会	7月25日	Long Term e GFR plotを用いた高尿酸血症治療の現状と展望	2	26	中澤 純(内科診療部長(腎臓内科部門))
	8月27日	第11回大津消化器カンファレンス 「紹介症例から学ぶ消化器診療のUp to date 2020」	16	19	山内 克真(消化器内科)、 諏訪 兼敏(消化器内科医長)他
	8月27日	例会時討論会 「新型コロナウイルス感染防止の現状と今後の備えについて」	1	33	大江 秀典(感染症科 診療部長)
大津市医師会雑誌	4月号	腎機能障害のため紹介された一例			吉田 尚平(内科医長)
	7月号	歯性上顎洞炎が疑われた副鼻腔真菌症の一例			小池 忍(耳鼻咽喉科 診療部長)
	10月号	2型糖尿病に併存する肝酵素上昇を契機に、肝細胞癌の発見に至った一例			弓削 大貴(内科)
	1月号	成長期の坐骨裂離骨折に対して手術・リハビリテーションを施行した一例			小椋 明子(整形外科 医長)

部	署	回数	院内	院外	合計
薬	剤 部	0			0
看	護 局	0			0
緩	和 ケ ア 病 棟	0			0
地	域 医 療 連 携 室	0			0
総	合 内 科	1	19	1	20
N	S T 委 員 会	0			0
救	急 診 療 科	0			0
化	学 療 法 委 員 会	0			0
そ	の 他	3	19	78	97
合	計	4	38	79	117

コロナ禍の影響により、実施できた研修は限定的。

入退院センター

<病床管理>

【予定入院・緊急入院数】

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	予定入院	414	420	419	446	435	393	409	416	378	412	385	367	4,894
	緊急入院	348	320	300	253	289	305	303	297	308	309	287	271	3,590
2020年度	予定入院	288	168	267	355	318	347	334	343	317	256	300	351	3,644
	緊急入院	216	194	263	295	330	256	300	278	325	223	237	288	3,205

<入院支援>

【予定入院オーダーに対する入室割合】

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2019年度	89.1	91.6	90.0	92.4	87.4	89.3	90.6	92.7	87.6	88.5	86.5	87.3	89.4
2020年度	88.3	90.6	86.3	87.5	86.1	88.8	98.2	98.4	98.1	95.6	105.3	112.5	94.6

【入院時支援を行った割合】

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2019年度	30.8	36.5	45.9	57.4	57.2	80.7	98.1	96.6	98.5	97.8	99.3	98.7	74.8
2020年度	97.5	93.9	96.0	95.8	97.7	97.6	97.6	97.5	97.2	98.9	98.0	98.2	97.2

<退院支援>

【入院患者数に対する相談件数（2018年～2020年度）】

	入院患者数	相談件数（延べ）	入院患者に対する相談件数割合
2018年度	9,161	3,480	38.0%
2019年度	8,484	3,146	37.1%
2020年度	6,871	3,732	54.3%

【相談内容別件数（2018年度～2020年度）】

	医療費	公的制度相談	転院（施設含む） 相談	在宅・介護相談	その他	合計
2018年度	18	46	877	1,892	647	3,480
2019年度	18	61	756	1,762	549	3,146
2020年度	21	45	791	2,154	721	3,732

患者相談支援室

【2020年度 相談件数 月別実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	2019 年度
		がん相談(A)	相談	1	3	0	1	0	2	1	1	1	1	1	3
	対応時間	15	180	0	50	0	120	40	60	50	50	20	125	710	635
総合相談(B)	相談	58	45	74	61	45	79	57	83	117	128	97	94	938	458
	対応時間	1,301	1,223	1,870	1,215	1,131	1,258	1,166	1,433	1,554	1,629	1,458	1,841	17,079	9,525
(B)の内訳1 個別事案	相談	36	26	33	36	31	52	36	21	24	24	36	48	403	458
	対応時間	1,114	1,029	1,395	1,112	990	1,170	1,016	851	693	512	811	1,399	12,092	9,525
(B)の内訳2 受診相談 電話相談等	相談	22	19	41	25	14	27	21	62	93	104	61	46	535	458
	対応時間	187	194	475	103	141	188	150	582	861	1,117	647	442	5,087	9,525
その他の 相談室利用 (C)	相談	6	6	13	22	13	10	10	16	10	24	35	24	189	177
	対応時間	176	223	817	640	425	300	410	540	332	547	1,188	686	6,284	5,765
患者相談 支援室合計 (A+B+C)	相談	65	54	87	84	58	91	68	100	128	153	133	121	1,142	651
	対応時間	1,492	1,626	2,687	1,905	1,556	1,678	1,616	2,033	1,936	2,226	2,666	2,652	24,073	15,925

2020年度 患者相談支援室 相談案件対応実績（2020.4.1～2021.3.31）

1 相談対応件数と時間の年次比較(2016年度～2020年度)

図1 患者相談支援室が対応した相談案件数、相談を受けた面談・電話などの時間を年度比較（2016年度から2020年度）。



図1 相談案件の件数と、相談時間の年度比較

図2は、5年間の相談の月別の件数。

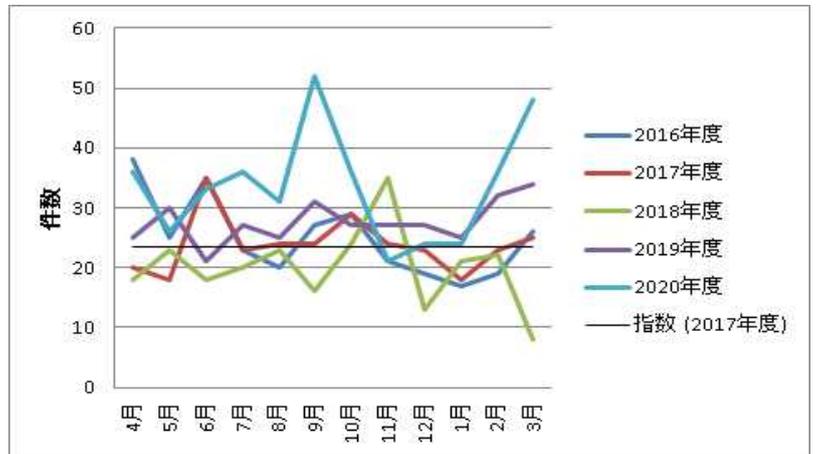


図2 相談の件数の月別変動の年度比較

2 相談案件の種類

図3は、患者相談支援室が対応した相談案件数を種類別に分類し、年度比較。

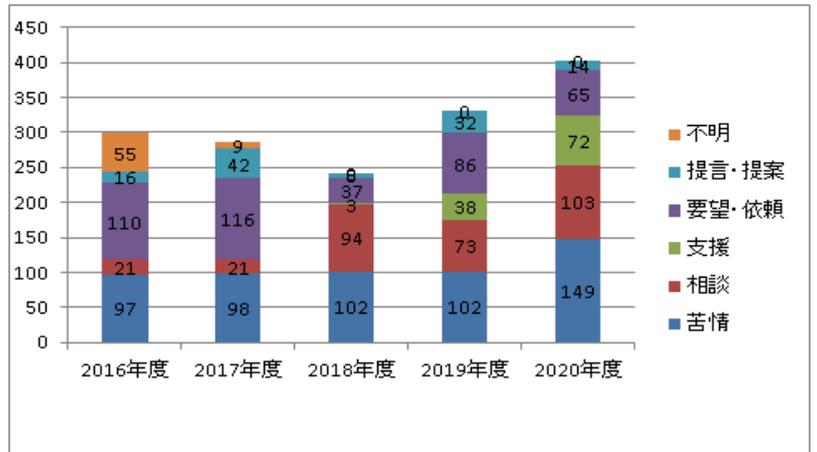


図3 相談案件の種類別の年度比較

図4は、2020年度の相談案件の月別の動きに、カテゴリー分類を組み合わせたもの。

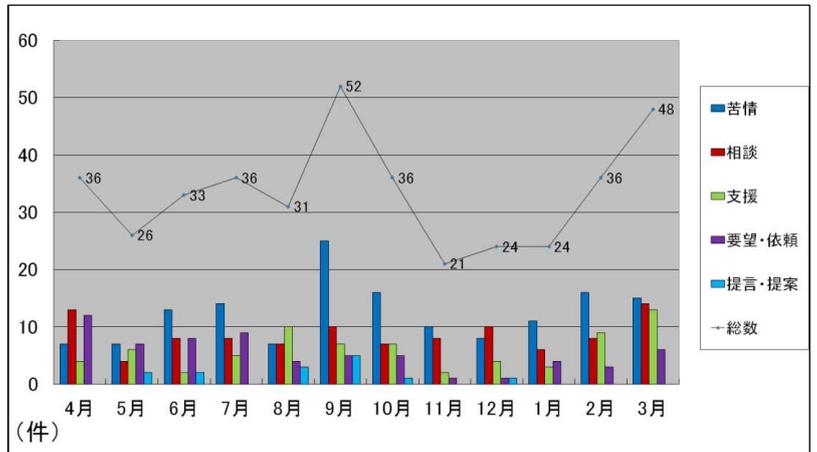


図4 2020年度 月別の相談件数

3 相談案件の対応方法

図5は、相談案件をどのような方法で受け、対応したかを年度別に比較。

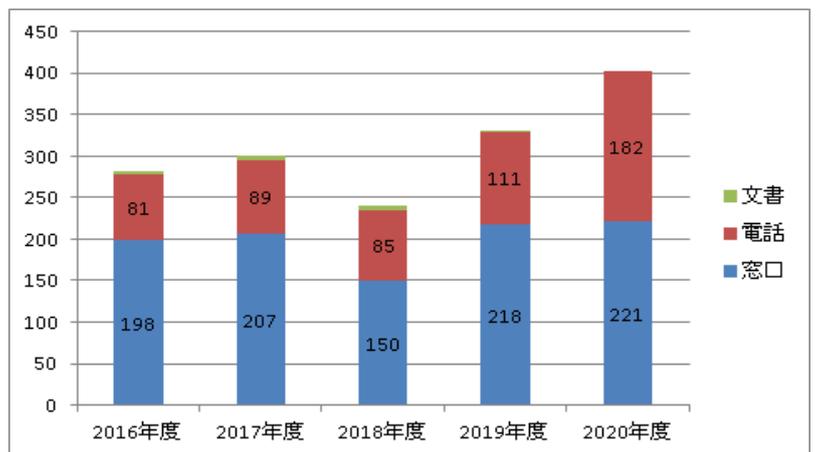
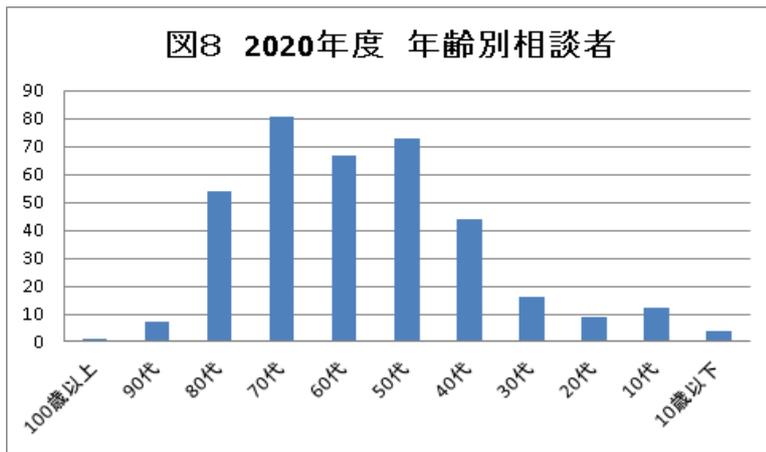
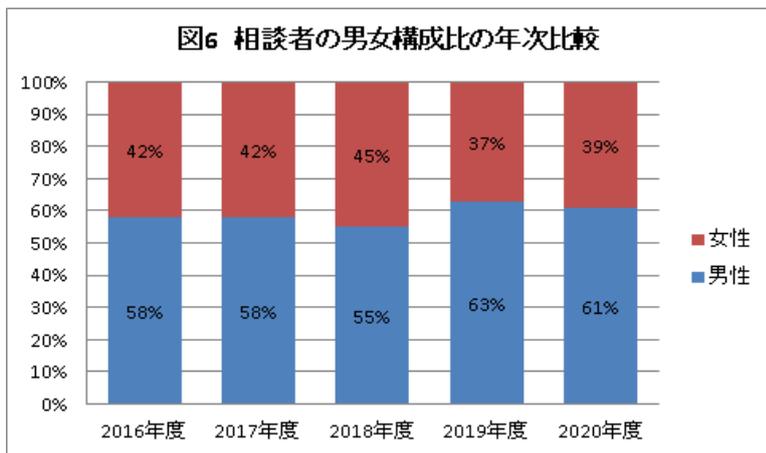


図5 相談案件の対応方法の年度比較

4 相談案件の相談者

図6は、相談者の男女構成比の年次比較を示している。
 図7は、2020年度の相談案件の相談者の男女比を示す。
 図8 相談の年齢層別構成。



※10歳以下は家族からの相談

5 相談案件の対象者

図9は2020年度の相談案件の対象者の割合。

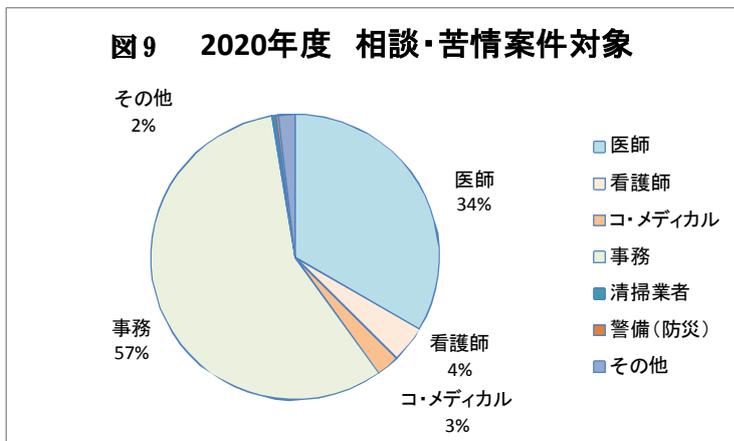
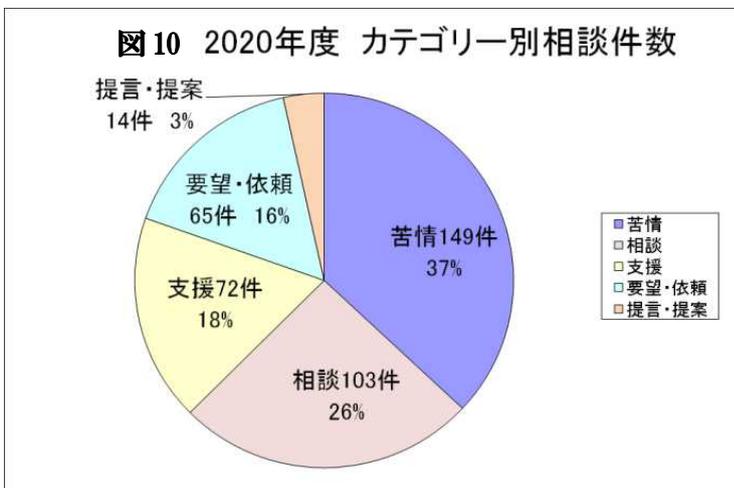


図10
 2020年度（令和2年度）の相談案件総数
 403件をカテゴリー別に分ける。



訪問看護ステーション

【利用者数の推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	88	86	85	88	85	78	77	80	78	75	80	82	982
2018年度	74	73	77	76	75	73	70	68	70	71	71	67	865
2019年度	69	70	69	76	70	73	77	76	80	84	88	92	924
2020年度	93	89	92	98	101	102	105	97	98	98	93	97	1,163

【訪問回数の推移】

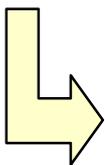
(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	699	719	831	802	761	662	656	701	681	697	760	802	8,771
2018年度	687	686	713	692	743	607	669	632	652	610	619	575	7,885
2019年度	626	611	617	743	650	543	585	616	633	699	672	713	7,708
2020年度	657	661	675	687	721	709	739	651	745	638	653	789	8,325

【休日定期訪問期間*の対象と訪問期間の推移】

	1～2週間	2～3週間	3～4週間	4～8週間	3ヶ月以上	全対象延べ人数
2017年度	29	2	0	2	2	35
2018年度	18	3	2	3	2	28
2019年度	10	4	1	5	5	25
2020年度	16	4	1	1	4	26

※休日定期訪問期間：土・日の訪問（年末年始・祭日は除外）



2020年度の主な訪問目的

- ・ターミナルケア
- ・褥瘡その他創傷処置
- ・点滴およびインスリン
- ・一時的な症状悪化
- ・吸引・排痰支援
- ・導尿、その他退院後の特別指示書による医療的管理、家族指導
- ・排便コントロール

【2020年度 疾病中分類別・上位疾病別・病名数】

対象期間の全病名数：7,198件

順位	コード	分類名	件数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	023	消化器の悪性新生物<腫瘍>	643	8.9	8,398	13.1	72.6
2	111	口腔、唾液腺及び顎の疾患	286	4.0	804	2.8	34.8
3	116	腸のその他の疾患	278	3.9	2,467	8.9	70.2
4	119	胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	273	3.8	4,839	17.7	73.9
5	096	その他の型の心疾患	266	3.7	4,612	17.3	78.2
6	024	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物 <腫瘍>	265	3.7	4,379	16.5	73.9
7	227	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシー コードの暫定分類(COVID-19)	257	3.6	3,856	15.0	54.4
8	038	良性新生物<腫瘍>	256	3.6	1,111	4.3	67.6
9	106	外的因子による肺疾患	243	3.4	6,520	26.8	83.3
10	094	虚血性心疾患	232	3.2	1,624	7.0	71.1
11	097	脳血管疾患	227	3.2	5,719	25.2	73.1
12	146	腎不全	177	2.5	2,306	13.0	73.4
13	149	尿路系のその他の疾患	155	2.2	2,491	16.1	81.8
14	102	インフルエンザ及び肺炎	151	2.1	2,828	18.7	72.5
15	030	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	144	2.0	1,565	10.9	71.5
16	079	水晶体の障害	137	1.9	277	2.0	76.7
17	145	腎尿細管間質性疾患	123	1.7	1,698	13.8	71.7
18	035	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性 新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推 定されたもの	121	1.7	2,638	21.8	72.1
19	204	股関節部及び大腿の損傷	110	1.5	3,189	29.0	82.3
20	031	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	102	1.4	1,484	14.5	73.5
21	147	尿路結石症	90	1.3	977	10.9	68.4
22	135	脊椎障害	88	1.2	2,537	28.8	67.9
23	037	上皮内新生物<腫瘍>	86	1.2	646	7.5	72.2
24	114	ヘルニア	83	1.2	519	6.3	72.7

24	150	男性生殖器の疾患	83	1.2	545	6.6	69.9
26	004	その他の細菌性疾患	82	1.1	1,841	22.5	70.2
27	053	代謝障害	77	1.1	1,311	17.0	68.8
28	118	肝疾患	76	1.1	2,066	27.2	64.1
29	028	乳房の悪性新生物<腫瘍>	75	1.0	787	10.5	63.1
29	070	挿間性及び発作性障害	75	1.0	395	5.3	55.6
31	216	外因のその他及び詳細不明の作用	74	1.0	166	2.2	12.5
31	218	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	74	1.0	1,575	21.3	71.7
33	098	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	71	1.0	1,057	14.9	72.6
34	034	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	62	0.9	759	12.2	67.8
34	121	皮膚及び皮下組織の感染症	62	0.9	1,130	18.2	70.8
36	047	糖尿病	60	0.8	922	15.4	67.8
37	113	虫垂の疾患	52	0.7	395	7.6	45.4
38	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	51	0.7	1,382	27.1	80.1
39	202	肘及び前腕の損傷	50	0.7	371	7.4	49.9
39	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	50	0.7	310	6.2	49.9
41	197	頭部損傷	49	0.7	821	16.8	75.0
42	136	その他の脊柱障害	48	0.7	426	8.9	63.1
42	205	膝及び下腿の損傷	48	0.7	1,380	28.8	62.0
44	112	食道、胃及び十二指腸の疾患	46	0.6	537	11.7	68.1
45	099	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	44	0.6	371	8.4	65.5
46	144	糸球体疾患	43	0.6	955	22.2	48.7
47	022	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	41	0.6	213	5.2	63.3
47	107	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	41	0.6	875	21.3	69.6
49	067	錐体外路障害及び異常運動	39	0.5	909	23.3	80.2
50	201	肩及び上腕の損傷	33	0.5	531	16.1	53.6

【2020年度 疾病中分類別・診療科別・病名数】

(単位：件)

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
総 数	7,198	100.0	1,071	1,287	471	226	787	409	8	150	164	595
構 成 比 (%) ※	100.0		14.9	17.9	6.5	3.1	10.9	5.7	0.1	2.1	2.3	8.3
I 感染症及び寄生虫症	163	2.3	42	40	30	20	2	1	—	—	1	6
001 腸管感染症	31	0.4	1	14	1	11	1	—	—	—	—	—
002 結核	8	0.1	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—
003 人畜共通細菌性疾患	1	0.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
004 その他の細菌性疾患	82	1.1	34	12	15	5	1	1	—	—	—	6
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	6	0.1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
012 ウイルス性肝炎	10	0.1	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—
014 その他のウイルス性疾患	14	0.2	5	3	—	2	—	—	—	—	1	—
015 真菌症	4	0.1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
016 原虫疾患	6	0.1	1	—	5	—	—	—	—	—	—	—
017 ぜんく蠕虫症	1	0.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
II 新生物<腫瘍>	1,838	25.5	117	537	203	2	428	6	—	—	56	297
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	41	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—	41	—
023 消化器の悪性新生物<腫瘍>	643	8.9	1	268	1	—	332	—	—	—	—	—
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	265	3.7	3	—	191	—	2	—	—	—	1	—
026 皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物<腫瘍>	3	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	3	0.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
028 乳房の悪性新生物<腫瘍>	75	1.0	—	—	—	—	69	—	—	—	—	—
029 女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	3	0.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
030 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	144	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141
031 腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	102	1.4	—	1	—	—	1	—	—	—	—	98
032 眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	3	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	62	0.9	1	6	6	1	13	2	—	—	8	11
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの	121	1.7	105	3	2	—	4	—	—	—	—	—
037 上皮内新生物<腫瘍>	86	1.2	—	34	1	—	4	—	—	—	2	35
038 良性新生物<腫瘍>	256	3.6	—	217	1	—	1	3	—	—	4	5
039 性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	29	0.4	7	7	—	1	2	1	—	—	—	4

※四捨五入誤差を含める

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
総 数	95	292	329	141	139	339	586	25	84
構 成 比 (%)	1.3	4.1	4.6	2.0	1.9	4.7	8.1	0.3	1.2
I 感染症及び寄生虫症	6	—	—	—	4	6	5	—	—
001 腸管感染症	—	—	—	—	—	2	1	—	—
002 結核	—	—	—	—	—	1	1	—	—
003 人畜共通細菌性疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
004 その他の細菌性疾患	2	—	—	—	3	—	3	—	—
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	3	—	—	—	—	1	—	—	—
012 ウイルス性肝炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
014 その他のウイルス性疾患	1	—	—	—	—	2	—	—	—
015 真菌症	—	—	—	—	1	—	—	—	—
016 原虫疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
017 ぜんく蠕虫症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II 新生物	15	5	9	—	77	—	2	—	84
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	—
023 消化器の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	41
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	45	—	1	—	22
026 皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物<腫瘍>	2	—	—	—	—	—	—	—	1
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	1
028 乳房の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	6
029 女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	2
030 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	3
031 腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	2
032 眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	—	—	1	—	—	—	—	—	2
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	—	—	—	—	—	—	—	—	—
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	—	—	1	—	13	—	—	—	—
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの	—	—	—	—	2	—	1	—	4
037 上皮内新生物<腫瘍>	2	—	—	—	8	—	—	—	—
038 良性新生物<腫瘍>	9	2	7	—	7	—	—	—	—
039 性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	2	3	—	—	2	—	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
III 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機能の障害	35	0.5	9	6	4	6	4	1	—	—	1	—
040 栄養性貧血	8	0.1	1	5	—	—	—	1	—	—	—	—
042 無形成性貧血及びその他の貧血	3	0.0	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
043 凝固障害、紫斑病及びその 他の出血性病態	6	0.1	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—
044 血液及び造血器のその他の 疾患	14	0.2	3	1	3	2	4	—	—	—	1	—
045 免疫機構の障害	4	0.1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	187	2.6	102	20	7	24	6	1	—	—	3	—
046 甲状腺障害	8	0.1	4	—	1	1	—	—	—	—	1	—
047 糖尿病	60	0.8	54	—	1	—	—	1	—	—	—	—
048 その他のグルコース調節及び 膵内分泌障害	8	0.1	4	—	1	3	—	—	—	—	—	—
049 その他の内分泌腺障害	24	0.3	10	2	—	11	—	—	—	—	—	—
050 栄養失調(症)	7	0.1	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—
051 その他の栄養欠乏症	3	0.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
053 代謝障害	77	1.1	28	18	4	8	4	—	—	—	2	—
V 精神及び行動の障害	23	0.3	1	2	—	3	—	—	—	—	—	—
054 症状性を含む器質性精神障害	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
055 精神作用物質使用による精神 及び行動の障害	4	0.1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—
056 統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	5	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
057 気分[感情]障害	7	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
058 神経症性障害、ストレス関連障 害及び身体表現性障害	3	0.0	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
059 生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
062 心理的発達の障害	1	0.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	194	2.7	7	2	13	13	—	5	—	—	29	—
065 中枢神経系の炎症性疾患	16	0.2	5	1	1	—	—	—	—	—	—	—
066 主に中枢神経系を障害する 系統萎縮症	12	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
067 錐体外路障害及び異常運動	39	0.5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
068 神経系のその他の変性疾患	5	0.1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
069 中枢神経系の脱髄疾患	3	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
070 挿間性及び発作性障害	75	1.0	—	—	12	9	—	—	—	—	25	—
071 神経、神経根及び神経そうく叢 の障害	12	0.2	—	—	—	—	—	5	—	—	4	—
072 多発(性)ニューロパチ<シ> ー及びその他の末梢神経系の 障害	3	0.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
073 神経筋接合部及び筋の疾患	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
074 脳性麻痺及びその他の麻痺性 症候群	2	0.0	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
075 神経系のその他の障害	26	0.4	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—

	皮膚科	歯科口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	1	—	—	—	1	1	1	—	—
040 栄養性貧血	—	—	—	—	—	—	1	—	—
042 無形成性貧血及びその他の貧血	—	—	—	—	—	—	—	—	—
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	1	—	—	—	—	1	—	—	—
044 血液及び造血器のその他の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
045 免疫機構の障害	—	—	—	—	1	—	—	—	—
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	2	—	—	—	1	11	8	2	—
046 甲状腺障害	—	—	—	—	—	—	1	—	—
047 糖尿病	2	—	—	—	—	—	2	—	—
048 その他のグルコース調節及び隣内分泌障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
049 その他の内分泌腺障害	—	—	—	—	1	—	—	—	—
050 栄養失調(症)	—	—	—	—	—	1	—	2	—
051 その他の栄養欠乏症	—	—	—	—	—	2	—	—	—
053 代謝障害	—	—	—	—	—	8	5	—	—
Ⅴ 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	4	—	13	—
054 症状性を含む器質性精神障害	—	—	—	—	—	2	—	—	—
055 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—	—	1	—
056 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	—	—	—	—	—	1	—	4	—
057 気分[感情]障害	—	—	—	—	—	1	—	6	—
058 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	—	—	—	—	—	—	—	1	—
059 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	—	—	—	—	—	—	—	1	—
062 心理的発達の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅵ 神経系の疾患	—	—	11	—	1	112	1	—	—
065 中枢神経系の炎症性疾患	—	—	2	—	—	7	—	—	—
066 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	—	—	—	—	—	12	—	—	—
067 錐体外路障害及び異常運動	—	—	—	—	—	38	—	—	—
068 神経系のその他の変性疾患	—	—	—	—	—	4	—	—	—
069 中枢神経系の脱髄疾患	—	—	—	—	—	3	—	—	—
070 挿間性及び発作性障害	—	—	1	—	—	28	—	—	—
071 神経、神経根及び神経そう<叢>の障害	—	—	3	—	—	—	—	—	—
072 多発(性)ニューロパチ<シ>—及びその他の末梢神経系の障害	—	—	1	—	—	1	—	—	—
073 神経筋接合部及び筋の疾患	—	—	—	—	1	—	—	—	—
074 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—
075 神経系のその他の障害	—	—	4	—	—	19	1	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
VII 眼及び付属器の疾患	138	1.9	—	—	—	—	—	—	—	137	—	—
079 水晶体の障害	137	1.9	—	—	—	—	—	—	—	137	—	—
083 視神経及び視(覚)路の障害	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	23	0.3	1	—	—	1	—	—	—	—	19	—
089 内耳疾患	16	0.2	1	—	—	1	—	—	—	—	12	—
090 耳のその他の障害	7	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—
IX 循環器系の疾患	868	12.1	36	11	9	1	1	—	—	—	—	4
092 慢性リウマチ性心疾患	3	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
093 高血圧性疾患	7	0.1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
094 虚血性心疾患	232	3.2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	18	0.3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
096 その他の型の心疾患	266	3.7	25	5	5	—	—	—	—	—	—	—
097 脳血管疾患	227	3.2	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	71	1.0	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	44	0.6	4	6	1	—	—	—	—	—	—	4
X 呼吸器系の疾患	601	8.3	150	62	165	43	8	—	—	—	41	6
101 急性上気道感染症	27	0.4	2	—	—	14	—	—	—	—	10	—
102 インフルエンザ及び肺炎	151	2.1	52	16	51	9	3	—	—	—	—	2
103 その他の急性下気道感染症	12	0.2	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—
104 上気道のその他の疾患	32	0.4	—	—	1	—	—	—	—	—	31	—
105 慢性下気道疾患	27	0.4	1	—	18	8	—	—	—	—	—	—
106 外的因子による肺疾患	243	3.4	89	43	41	—	5	—	—	—	—	4
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	41	0.6	2	2	32	—	—	—	—	—	—	—
108 下気道の化膿性及びえく壊>死性病態	26	0.4	—	1	16	—	—	—	—	—	—	—
109 胸膜のその他の疾患	29	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
110 呼吸器系のその他の疾患	13	0.2	4	—	6	—	—	—	—	—	—	—
XI 消化器系の疾患	1,147	15.9	11	521	2	4	305	1	—	—	2	13
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	286	4.0	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	46	0.6	2	36	—	—	5	—	—	—	—	1
113 虫垂の疾患	52	0.7	—	—	—	2	50	—	—	—	—	—
114 ヘルニア	83	1.2	—	2	—	—	71	—	—	—	—	10
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	15	0.2	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—
116 腸のその他の疾患	278	3.9	1	204	—	1	71	—	—	—	—	—
117 腹膜の疾患	11	0.2	—	3	—	—	6	1	—	—	—	1
118 肝疾患	76	1.1	6	69	1	—	—	—	—	—	—	—
119 胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	273	3.8	2	174	1	—	94	—	—	—	—	1
120 消化器系のその他の疾患	27	0.4	—	18	—	—	8	—	—	—	—	—

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
079 水晶体の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
083 視神経及び視（覚）路の障害	—	—	—	—	—	1	—	—	—
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	1	—	1	—
089 内耳疾患	—	—	—	—	—	1	—	1	—
090 耳のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅸ 循環器系の疾患	2	—	99	97	1	138	469	—	—
092 慢性リウマチ性心疾患	—	—	—	3	—	—	—	—	—
093 高血圧性疾患	—	—	—	1	—	—	3	—	—
094 虚血性心疾患	—	—	—	10	—	—	221	—	—
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	—	—	—	—	—	—	16	—	—
096 その他の型の心疾患	—	—	—	27	—	2	202	—	—
097 脳血管疾患	—	—	88	—	—	135	1	—	—
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	1	—	11	30	—	1	25	—	—
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1	—	—	26	1	—	1	—	—
X 呼吸器系の疾患	1	—	1	1	43	26	54	—	—
101 急性上気道感染症	—	—	—	—	—	—	1	—	—
102 インフルエンザ及び肺炎	—	—	—	—	1	3	14	—	—
103 その他の急性下気道感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
104 上気道のその他の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
105 慢性下気道疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
106 外的因子による肺疾患	1	—	1	—	—	21	38	—	—
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	—	—	—	1	4	—	—	—	—
108 下気道の化膿性及び えく壊>死性病態	—	—	—	—	7	2	—	—	—
109 胸膜のその他の疾患	—	—	—	—	28	—	1	—	—
110 呼吸器系のその他の疾患	—	—	—	—	3	—	—	—	—
Ⅺ 消化器系の疾患	—	283	—	—	—	3	2	—	—
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	—	283	—	—	—	—	—	—	—
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	—	—	—	—	—	1	1	—	—
113 虫垂の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
114 ヘルニア	—	—	—	—	—	—	—	—	—
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
116 腸のその他の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
117 腹膜の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
118 肝疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
119 胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	—	—	—	—	—	—	1	—	—
120 消化器系のその他の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	83	1.2	10	2	—	2	4	—	—	—	3	—
121 皮膚及び皮下組織の感染症	62	0.9	10	2	—	2	4	—	—	—	3	—
122 水疱症	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
123 皮膚炎及び湿疹	4	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
125 じんま<蕁麻>疹及び紅斑	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
127 皮膚付属器の障害	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	13	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	265	3.7	40	6	8	10	1	59	—	—	—	2
129 感染性関節障害	1	0.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
130 炎症性多発性関節障害	23	0.3	11	1	2	—	—	5	—	—	—	—
131 関節症	32	0.4	—	—	—	—	—	32	—	—	—	—
132 その他の関節障害	3	0.0	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—
133 全身性結合組織障害	28	0.4	13	2	5	7	—	—	—	—	—	—
134 変形性脊柱障害	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
135 脊椎障害	88	1.2	9	2	—	—	—	—	—	—	—	—
136 その他の脊柱障害	48	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
137 筋障害	11	0.2	6	—	—	—	1	—	—	—	—	1
138 滑膜及び腱の障害	4	0.1	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—
139 その他の軟部組織障害	7	0.1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
140 骨の密度及び構造の障害	5	0.1	—	—	1	—	—	4	—	—	—	—
141 その他の骨障害	6	0.1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	1
142 軟骨障害	2	0.0	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	6	0.1	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	689	9.6	289	58	11	3	3	—	8	—	5	253
144 糸球体疾患	43	0.6	37	—	—	1	—	—	—	—	5	—
145 腎尿細管間質性疾患	123	1.7	37	11	6	—	—	—	—	—	—	61
146 腎不全	177	2.5	142	5	2	—	—	—	—	—	—	3
147 尿路結石症	90	1.3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	88
148 腎及び尿管のその他の障害	8	0.1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4
149 尿路系のその他の疾患	155	2.2	67	40	3	2	2	—	—	—	—	16
150 男性生殖器の疾患	83	1.2	1	1	—	—	1	—	—	—	—	79
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	1	0.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
153 女性生殖器の非炎症性障害	9	0.1	—	—	—	—	—	—	7	—	—	2

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	54	1	—	—	—	4	3	—	—
121 皮膚及び皮下組織の感染症	36	1	—	—	—	3	1	—	—
122 水疱症	1	—	—	—	—	—	—	—	—
123 皮膚炎及び湿疹	4	—	—	—	—	—	—	—	—
125 じんま〈蕁麻疹〉疹及び紅斑	2	—	—	—	—	—	—	—	—
127 皮膚付属器の障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	10	—	—	—	—	1	2	—	—
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	8	—	126	—	—	4	1	—	—
129 感染性関節障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
130 炎症性多発性関節障害	2	—	2	—	—	—	—	—	—
131 関節症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
132 その他の関節障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
133 全身性結合組織障害	—	—	1	—	—	—	—	—	—
134 変形性脊柱障害	—	—	1	—	—	—	—	—	—
135 脊椎障害	—	—	75	—	—	2	—	—	—
136 その他の脊柱障害	—	—	46	—	—	2	—	—	—
137 筋障害	1	—	1	—	—	—	1	—	—
138 滑膜及び腱の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
139 その他の軟部組織障害	5	—	—	—	—	—	—	—	—
140 骨の密度及び構造の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
141 その他の骨障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
142 軟骨障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	—	—	1	22	—	13	23	—	—
144 糸球体疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
145 腎尿細管間質性疾患	—	—	—	—	—	4	4	—	—
146 腎不全	—	—	—	21	—	1	3	—	—
147 尿路結石症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
148 腎及び尿管のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
149 尿路系のその他の疾患	—	—	1	1	—	7	16	—	—
150 男性生殖器の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
153 女性生殖器の非炎症性障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
XVI 周産期に発生した病態	2	0.0	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
172 周産期に発生したその他の障 害	2	0.0	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
VII 先天奇形、変形及び染色体異常	19	0.3	4	1	—	4	—	1	—	—	1	4
173 神経系の先天奇形	2	0.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
175 循環器系の先天奇形	5	0.1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
180 腎尿路系の先天奇形	7	0.1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	3
181 筋骨格系の先天奇形及び変 形	1	0.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
182 その他の先天奇形	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
183 染色体異常、他に分類され ないもの	3	0.0	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—

	皮 膚 科	歯 科 口 腔 外 科	脳 神 経 外 科	心 臓 血 管 外 科	呼 吸 器 外 科	脳 神 経 内 科	循 環 器 内 科	精 神 ・ 心 療 内 科	緩 和 ケ ア 科
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	—	—	—	—	—	—	—	—	—
XVI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—	—	—	—
172 周産期に発生したその他の障 害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VII 先天奇形、変形及び染色体異常	—	—	3	—	1	—	—	—	—
173 神経系の先天奇形	—	—	1	—	—	—	—	—	—
175 循環器系の先天奇形	—	—	2	—	1	—	—	—	—
180 腎尿路系の先天奇形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
181 筋骨格系の先天奇形及び変 形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
182 その他の先天奇形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
183 染色体異常、他に分類され ないもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
Ⅷ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	41	0.6	9	4	3	7	1	—	—	—	2	—
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	5	0.1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	0.1	1	2	—	—	1	—	—	—	—	—
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	8	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—
191 全身症状及び徴候	21	0.3	7	1	—	7	—	—	—	—	—	—
192 血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	1	0.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
195 画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	553	7.7	21	10	4	65	13	297	—	—	1	9
197 頭部損傷	49	0.7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
198 頸部損傷	14	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
199 胸部<郭>損傷	15	0.2	1	2	—	—	—	1	—	—	—	—
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	51	0.7	1	1	—	—	—	31	—	—	—	2
201 肩及び上腕の損傷	33	0.5	—	—	—	1	—	32	—	—	—	—
202 肘及び前腕の損傷	50	0.7	—	—	—	—	—	50	—	—	—	—
203 手首及び手の損傷	8	0.1	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—
204 股関節部及び大腿の損傷	110	1.5	1	—	1	—	—	108	—	—	—	—
205 膝及び下腿の損傷	48	0.7	—	—	—	—	—	48	—	—	—	—
206 足首及び足の損傷	7	0.1	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—
207 多部位の損傷	2	0.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
208 部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷又は部位不明の損傷	3	0.0	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
209 自然開口部からの異物侵入の作用	1	0.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	11	0.2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
216 外因のその他及び詳細不明の作用	74	1.0	6	2	1	64	—	—	—	—	—	—
217 外傷の早期合併症	1	0.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	74	1.0	9	5	1	—	13	9	—	—	1	7
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
Ⅷ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	—	—	—	3	7	4	—	—
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	1	—	—	—	—	—	1	—	—
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	—	—	—	—	—	—	—	—	—
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	—	—	—	—	—	3	2	—	—
191 全身症状及び徴候	—	—	—	—	1	4	1	—	—
192 血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—
195 画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	—	—	—	—	2	—	—	—	—
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	3	78	17	6	7	9	9	—
197 頭部損傷	—	1	43	—	—	3	1	—	—
198 頸部損傷	—	—	13	—	—	1	—	—	—
199 胸部<郭>損傷	—	—	5	—	6	—	—	—	—
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	—	—	14	—	—	2	—	—	—
201 肩及び上腕の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
202 肘及び前腕の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
203 手首及び手の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
204 股関節部及び大腿の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
205 膝及び下腿の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
206 足首及び足の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
207 多部位の損傷	1	—	—	—	—	—	—	—	—
208 部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷又は部位不明の損傷	1	—	—	—	—	—	—	—	—
209 自然開口部からの異物侵入の作用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	1	—	—	—	—	—	—	—	—
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	—	—	—	—	—	1	—	9	—
216 外因のその他及び詳細不明の作用	—	—	—	—	—	—	1	—	—
217 外傷の早期合併症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1	2	2	17	—	—	7	—	—
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	—	—	1	—	—	—	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	72	1.0	2	1	-	1	11	37	-	13	-	1
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	1	0.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
221 伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	50	0.7	1	-	-	-	11	37	-	-	-	1
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	20	0.3	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-
XXII 特殊目的用コード	257	3.6	220	4	12	15	-	-	-	-	-	-
227 原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	257	3.6	220	4	12	15	-	-	-	-	-	-

	皮 膚 科	歯 科 口 腔 外 科	脳 神 経 外 科	心 臓 血 管 外 科	呼 吸 器 外 科	脳 神 経 内 科	循 環 器 内 科	精 神 ・ 心 療 内 科	緩 和 ケ ア 科
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1	-	-	4	1	-	-	-	
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	-	-	-	-	-	-	-	-	
221 伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	-	-	-	-	-	-	-	-	
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	-	-	-	-	-	-	-	-	
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	-	-	4	1	-	-	-	
XXII 特殊目的用コード	-	-	1	-	-	1	4	-	
227 原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	-	-	1	-	-	1	4	-	

【2020年（1～12月度） 地区別・診療科別退院患者数】

退院患者数には転科を含む（単位：件）

	滋賀県											
	大津市			湖南			湖東			その他		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
内 科	983	553	430	46	21	25	9	4	5	9	8	1
消化器内科	1,204	720	484	41	25	16	11	5	6	5	3	2
外 科	770	424	346	25	19	6	5	1	4	4	1	3
呼吸器内科	462	303	159	22	14	8	5	4	1	4	1	3
小 児 科	259	158	101	13	11	2	2	1	1	1	1	0
整形外科	404	155	249	20	13	7	2	1	1	0	0	0
産婦人科	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科	130	67	63	2	2	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	162	115	47	9	7	2	0	0	0	1	1	0
泌尿器科	558	429	129	38	36	2	10	10	0	4	2	2
皮 膚 科	88	46	42	2	2	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	270	105	165	17	8	9	6	1	5	14	7	7
脳神経内科	336	175	161	7	6	1	2	2	0	2	2	0
脳神経外科	304	167	137	12	8	4	9	5	4	4	3	1
循環器内科	563	369	194	23	17	6	3	3	0	2	1	1
呼吸器外科	108	69	39	13	12	1	2	1	1	0	0	0
心臓血管外科	135	72	63	10	5	5	0	0	0	3	1	2
精神・心療内科	22	11	11	3	1	2	0	0	0	1	0	1
緩和ケア科	116	63	53	10	7	3	2	0	2	1	0	1
比率 (%)	91.8%			4.2%			0.9%			0.7%		
合 計	6,880	4,001	2,879	313	214	99	68	38	30	55	31	24

	京都府						他府県			合 計			比率 (%)
	山科地区			その他			計	男	女	計	男	女	
	計	男	女	計	男	女							
内 科	2	1	1	9	6	3	6	4	2	1,064	597	467	14.2
消化器内科	10	9	1	8	7	1	10	7	3	1,289	776	513	17.2
外 科	6	3	3	4	4	0	6	0	6	820	452	368	10.9
呼吸器内科	0	0	0	3	3	0	4	4	0	500	329	171	6.7
小 児 科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	276	172	104	3.7
整形外科	5	1	4	7	5	2	5	4	1	443	179	264	5.9
産婦人科	0	0	0	3	0	3	0	0	0	9	0	9	0.1
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	69	63	1.8
耳鼻咽喉科	0	0	0	6	5	1	6	4	2	184	132	52	2.5
泌尿器科	2	2	0	3	3	0	6	1	5	621	483	138	8.3
皮 膚 科	2	2	0	2	1	1	2	2	0	96	53	43	1.3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	0	0	0	1	0	1	3	1	2	311	122	189	4.2
脳神経内科	2	2	0	1	1	0	2	1	1	352	189	163	4.7
脳神経外科	6	3	3	5	3	2	5	3	2	345	192	153	4.6
循環器内科	4	4	0	4	3	1	2	2	0	601	399	202	8.0
呼吸器外科	3	2	1	10	7	3	1	1	0	137	92	45	1.8
心臓血管外科	2	2	0	1	0	1	0	0	0	151	80	71	2.0
精神・心療内科	0	0	0	1	0	1	2	0	2	29	12	17	0.4
緩和ケア科	0	0	0	0	0	0	3	0	3	132	70	62	1.8
比率 (%)	0.6%			0.9%			0.9%						
合 計	44	31	13	68	48	20	64	35	29	7,492	4,398	3,094	

【部位（大分類）別・診断年別・腫瘍数（2019年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	869	100.0	09 (C49) 結合組織、皮下組織及び その他の軟部組織	計	3	0.3
	男	525	60.4		男	1	0.2
	女	344	39.6		女	2	0.6
構成比 (%)	計		100.0	10 (C50) 乳房	計	62	7.1
	男		100.0		男	1	0.2
	女		100.0		女	61	17.7
01 (C00-C14) 口唇、口腔及び咽喉頭	計	14	1.6	11 (C51-C58) 女性性器	計	26	3.0
	男	12	2.3		男	—	—
	女	2	0.6		女	26	7.6
02 (C15-C26) 消化器	計	389	44.8	12 (C60-C63) 男性性器	計	72	8.3
	男	245	46.7		男	72	13.7
	女	144	41.9		女	—	—
03 (C30-C39) 呼吸器系及び胸腔内臓器	計	138	15.9	13 (C64-C68) 尿路	計	80	9.2
	男	82	15.6		男	64	12.2
	女	56	16.3		女	16	4.7
04 (C40-C41) 骨、関節及び関節軟骨	計	3	0.3	14 (C69-C72) 眼、脳及びその他の 中枢神経系	計	14	1.6
	男	1	0.2		男	8	1.5
	女	2	0.6		女	6	1.7
05 (C42) 造血系及び細網内皮系	計	14	1.6	15 (C73-C75) 甲状腺及びその他の 内分泌腺	計	15	1.7
	男	12	2.3		男	4	0.8
	女	2	0.6		女	11	3.2
06 (C44) 皮膚	計	21	2.4	16 (C76) その他及び不明確な部位	計	—	—
	男	12	2.3		男	—	—
	女	9	2.6		女	—	—
07 (C47) 末梢神経及び自律神経系	計	—	—	17 (C77) リンパ節	計	11	1.3
	男	—	—		男	8	1.5
	女	—	—		女	3	0.9
08 (C48) 後腹膜及び腹膜	計	3	0.3	18 (C80) 原発部位不明	計	4	0.5
	男	1	0.2		男	2	0.4
	女	2	0.6		女	2	0.6

【部位（中分類）別・診断年別・腫瘍数（2019年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	869	100.0	C17 小腸	計	12	1.4
	男	525	60.4		男	10	1.9
	女	344	39.6		女	2	0.6
構成比 (%)	計		100.0	C18 結腸	計	114	13.1
	男		100.0		男	65	12.4
	女		100.0		女	49	14.2
C02 その他及び部位不明の舌	計	3	0.3	C19 直腸S状結腸移行部	計	3	0.3
	男	2	0.4		男	2	0.4
	女	1	0.3		女	1	0.3
C03 歯肉	計	2	0.2	C20 直腸	計	35	4.0
	男	1	0.2		男	21	4.0
	女	1	0.3		女	14	4.1
C07 耳下腺	計	1	0.1	C22 肝及び肝内胆管	計	46	5.3
	男	1	0.2		男	35	6.7
	女	—	—		女	11	3.2
C09 扁桃	計	2	0.2	C23 胆のう	計	9	1.0
	男	2	0.4		男	4	0.8
	女	—	—		女	5	1.5
C10 中咽頭	計	2	0.2	C24 その他及び部位不明の胆道	計	10	1.2
	男	2	0.4		男	9	1.7
	女	—	—		女	1	0.3
C11 鼻咽頭	計	1	0.1	C25 腭	計	30	3.5
	男	1	0.2		男	14	2.7
	女	—	—		女	16	4.7
C12 梨状陥凹	計	2	0.2	C30 鼻腔及び中耳	計	1	0.1
	男	2	0.4		男	—	—
	女	—	—		女	1	0.3
C13 下咽頭	計	1	0.1	C31 副鼻腔	計	1	0.1
	男	1	0.2		男	1	0.2
	女	—	—		女	—	—
C15 食道	計	24	2.8	C32 喉頭	計	7	0.8
	男	17	3.2		男	7	1.3
	女	7	2.0		女	—	—
C16 胃	計	106	12.2	C34 気管支及び肺	計	121	13.9
	男	68	13.0		男	68	13.0
	女	38	11.0		女	53	15.4

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
C37 胸腺	計	3	0.3	C62 精巣	計	1	0.1
	男	1	0.2		男	1	0.2
	女	2	0.6		女	—	—
C38 心臓、縦隔及び胸膜	計	5	0.6	C63 その他及び部位不明の男性性器	計	1	0.1
	男	5	1.0		男	1	0.2
	女	—	—		女	—	—
C40 肢の骨、関節及び関節軟骨	計	1	0.1	C64 腎	計	28	3.2
	男	—	—		男	22	4.2
	女	1	0.3		女	6	1.7
C41 その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	計	2	0.2	C65 腎盂	計	6	0.7
	男	1	0.2		男	5	1.0
	女	1	0.3		女	1	0.3
C42 造血系及び細網内皮系	計	14	1.6	C66 尿管	計	5	0.6
	男	12	2.3		男	3	0.6
	女	2	0.6		女	2	0.6
C44 皮膚	計	21	2.4	C67 膀胱	計	41	4.7
	男	12	2.3		男	34	6.5
	女	9	2.6		女	7	2.0
C48 後腹膜及び腹膜	計	3	0.3	C69 眼及び付属器	計	1	0.1
	男	1	0.2		男	—	—
	女	2	0.6		女	1	0.3
C49 結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	計	3	0.3	C70 髄膜	計	5	0.6
	男	1	0.2		男	2	0.4
	女	2	0.6		女	3	0.9
C50 乳房	計	62	7.1	C71 脳	計	7	0.8
	男	1	0.2		男	5	1.0
	女	61	17.7		女	2	0.6
C51 外陰	計	1	0.1	C72 脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	計	1	0.1
	男	—	—		男	1	0.2
	女	1	0.3		女	—	—
C53 子宮頸	計	16	1.8	C73 甲状腺	計	14	1.6
	男	—	—		男	4	0.8
	女	16	4.7		女	10	2.9
C54 子宮体部	計	5	0.6	C74 副腎	計	1	0.1
	男	—	—		男	—	—
	女	5	1.5		女	1	0.3
C56 卵巣	計	4	0.5	C77 リンパ節	計	11	1.3
	男	—	—		男	8	1.5
	女	4	1.2		女	3	0.9
C60 陰茎	計	1	0.1	C80 原発部位不明	計	4	0.5
	男	1	0.2		男	2	0.4
	女	—	—		女	2	0.6
C61 前立腺	計	69	7.9				
	男	69	13.1				
	女	—	—				

臨床研修センター

修医・専攻医（後期研修医）を中心に、すべての医療関係者個々の臨床学習を支援しています。実り多い研修にするためには、医療ニーズに触れ、ニーズを満たすために必要な力を個々がMy goalを設定して取り組むことが肝要です。臨床研修センターは研修事業の充実への最大限の支援体制を目指しています。

【初期臨床研修支援事業】

医科初期臨床研修においては、マッチング採用の当院研修希望者に加え、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院及び滋賀医科大学医学部附属病院からのたすきがけ研修医を受け入れている。

■2020年度研修者

(医科)

・2年次

市立大津市民病院採用 10名

・1年次

市立大津市民病院採用 9名

京都府立医科大学たすきがけコース 1名

(歯科)

・1年次

市立大津市民病院採用 0名

(2019年度は1名採用)

【2020年度の主な事業】

<シミュレーション研修>

研修医及び新規採用看護師を対象に、オリエンテーションの一環として患者への注射等のシミュレーションを実施した。外部の研修会場にて動画での講義及び専門の用具を利用し、実現場に近い状態での研修となった。

<実習生受入れ>

医師、看護師、コメディカル等医療職の資格取得を目指す学生の実習先として、2019年度も多くの学生実習を受入れた。次年度以降においても現場職員と調整し、学生の受入を継続する予定である。

院内研修への参加

CPC、医療安全研修会、感染対策研修会、各セミナー・講演会等

院外研修

WATCH in Shiga、各診療科における症例検討会・抄読会・勉強会・合同カンファレンス等、基本的臨床能力評価試験

臨床研修センターロゴマーク



武士（もののふ）の
やばせの舟は早けれど
急がば遅れ瀬田の長橋

【院内研修支援事業】

<蘇生研修事業>

BLS 研修は、全ての職員に一定の患者救急対応能力を持たせ安全管理の充実を図ることを目的に、医師を除く全職員を対象に行っている。令和2年度については、日本蘇生協会（JRC）蘇生ガイドライン 2015 に準拠されている BLS 研修を看護師・コメディカルを対象に実施した。

また ICLS 研修は、緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目的としており、約 1 日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につける。令和2年度については、日本救急医学会の基準に基づき、研修医・コメディカルを対象に実施した。

なお、上記研修は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを鑑み、少人数での開催を基本とした。

■BLS 研修

受講者向け 研修回数：4 回、受講職員数：33 名

インストラクター研修 研修回数：1 回、受講職員数：1 名

■ICLS 研修

開催回数：2 回、受講者数：12 名



【インターネット情報交換活動】

「Facebook：大津市民病院臨床研修センター」を利用して、即時性の高い情報交換を実施している。

【後期臨床研修支援事業】

■2020 年度在籍者

内科専攻医 9 名

(うち市立大津市民病院内科専門研修プログラム 2 名)

麻酔科専攻医 2 名

(うち市立大津市民病院麻酔科専門研修プログラム 2 名)

その他専攻医 7 名